

総合運転試験実施における注意事項

総合運転試験において、特にご注意いただきたい事項についてご案内いたします。試験実施前に、必ずご確認くださいませようお願いいたします。

なお、総合運転試験の実施内容は「貿易管理サブシステムのNACCS統合説明会資料(Ⅲ総合運転試験実施要領)」をご参照ください。

[NACCS掲示板 貿易管理サブシステムのNACCS統合 関係資料]

<https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/system/etcdoc/bousub/bousabutougou.html>

1. 通関業者様向け注意事項(シナリオの利用方法含む)

2. 輸出入者様向け注意事項

3. SMTP双方向(自社システム)利用者様向け注意事項

4. その他

1. 通関業者様向け注意事項(シナリオの利用方法含む)

(1) 疑似データ等の利用について

①習熟訓練の申告情報は、あらかじめ申告事項登録まで登録済みのものをご利用いただくことで、入力作業を省力化していますが、当該申告事項登録の情報を流用するなどして、ダミー利用者IDにて新たな申告事項登録を作成することが可能です。

しかしながら、疑似の電子ライセンスは、複数の利用者で共用しているため(同一の許可承認番号)、数量等の残数に留意してご利用ください。

②試験環境に登録されたデータ等は、総合運転試験の初日に登録され、総合運転試験期間中、初期化は行いません。また、本番で設定している保存期間は適用されず、データの削除は行いません。

③習熟訓練において、疑似データを利用して新たに申告事項登録を行う場合は、以下のとおり入力してください。

- ・「申告貨物識別」欄→ 海上:「M」(海上郵便物) / 航空:「H」(航空郵便物)
- ・「貿易形態別符号」欄の1桁目→ 「2」(郵便物)

1. 通関業者様向け注意事項(シナリオの利用方法含む)

(2)シナリオの利用方法

習熟訓練においては、登録済みの輸出入申告事項登録を呼び出した後、「入力シナリオ」を利用して、様々な突合結果をお試しいただけます。利用方法は以下をご参照ください。

	内容	例（輸出シナリオ項番3）
①	「入力シナリオ」のB列「通関する貨物」C列「シナリオ内容」より、実施したい内容を選択します。	「安保関連(個別許可)」、 「貨物の誤りによる不突合」を選択
②	「入力シナリオ」のG・H・I列「輸出申告等一覧照会(IES)」を参考に、ダミー利用者IDで、IESを実施し、申告を実施する申告番号を選択します。	—
③	「輸出申告事項呼出し(EDB)」にて②で選択した申告情報を呼び出します。	—
④	「入力シナリオ」のL～T列「輸出申告事項登録(EDA)」の項目を③で呼出した情報に反映させ送信します。	(P.4画面参照)
⑤	「入力シナリオ」のU～AA列「外為法 裏書情報呼出し(JTB)」「外為法 裏書情報登録(輸出)(JTA)」のとおり裏書を実施します。→突合が起動	(P.5画面参照)
⑥	「入力シナリオ」のAC列「外為法 突合情報照会(JTJ)」(確認内容)の内容をJTJ実施により確認します。またAD列「不突合理由」に理由登録の旨記載がある場合は理由を登録します。	JTJの結果は ・突合総合結果がNG ・貨物番号突合(個別)がNG
⑦	「入力シナリオ」のAE・AF列「輸出申告(EDC)」の内容をEDC実施により確認します。 解決策の記載がある場合は、記載のとおり修正し、申告可能となることを確認します。	・申告はできない(突合がNG) ※申告の輸出貿易管理令別表コードを、正しい番号に修正することで申告可能

1. 通関業者様向け注意事項(シナリオの利用方法含む)

(参考)「輸出申告事項登録(EDA)」業務

The screenshot shows the EDA AEL system interface with four callout boxes providing instructions:

- ①「輸出承認証等識別」欄
「輸出承認証番号等」欄
FENJ / ELNJ + ダミー電子ライセンス
番号を必須入力。
※詳細は、輸出シナリオ参照**
- ②「最終仕向地」欄
実施したいシナリオに沿って、
入力内容を変更。
※詳細は、輸出シナリオ参照**
- ③「輸出承認証等区分」欄
実施したいシナリオに沿って、
入力内容を変更。
※詳細は、輸出シナリオ参照**
- ④「輸出貿易管理令別表コード」欄
「外為法第48条コード」欄
実施したいシナリオに沿って、入力
内容を変更。
※詳細は、輸出シナリオ参照**

The interface includes fields for system identification (航空), input information (輸入情報特定番号), and various registration details (輸出者電話, 税関事務管理入, 申告予定者, etc.). It also features a table for registration numbers (輸出承認証番号) and a detailed view of the export statistics (輸出統計品目番号) with associated codes and quantities.

1. 通関業者様向け注意事項(シナリオの利用方法含む)

(参考)「外為法 裏書情報登録(輸出)(JTA)」業務

システム識別
外為法関連業務
入力情報特定番号
添付ファイル
ファイル名 サイズ
入力項目ガイド
積出港コードを入力

共通部 繰返部
申告番号 13002532530 電子ライセンス番号 G-AI-20-S10736 取引明細項番 1
電子ライセンス実績累計及び総残数
総数量 1,500.00000 実績累計 0.00000 残量 1,500.00000 単位 KG
申告予定年月日 2020/04/14 積出港
商品名* 輸技術用エアライフル
建値* FOB 通貨* USD
送料金額* 123,456.00000
 突合業務の起動

実施したいシナリオに沿って、入力。

※詳細は、輸出シナリオ参照

※入力指示のない項目は、適切な任意の値を入力

裏書情報登録情報 (輸出)
ファイル(F) 編集(E) 業務(J) 表示(V) オプション(O)
元に戻す 切り取り コピー 貼り付け 外部ファイルを開く 名前を付けて保存 印刷
送信 送信フォルダーに保存 添付ファイルの追加

共通部 繰返部
入力情報特定番号
添付ファイル
ファイル名 サイズ
入力項目ガイド
(1) 当該申告にかかる全ての裏書が完了する際にチェック

番号	船積数量	単位
01	100	KG
02		KG
03		KG
		KG

1. 通関業者様向け注意事項(シナリオの利用方法含む)

(3) 税関の対応について(変更)

- ①税関による審査終了について、通関業務の状況によっては、審査終了が実施されない可能性があります。税関による審査終了を特に希望する場合には、税関の申告先部門へ電話等により連絡ください。
- ②申告後及び許可後の訂正については、通常は税関の事前了解が必要ですが、総合運転試験では税関の事前了解を必要としません。

(4) その他


- ①総合運転試験期間中に、本番のNACCSにおいて重大な障害が発生した場合は、障害状況により、総合運転試験を停止させていただく場合があります。
- ②上記①の場合及び、総合運転試験環境において障害が発生し、総合運転試験を停止する場合は、NACCS掲示板にてお知らせします。

(1) パッケージソフトについて

①総合運転試験に参加する場合は、必ず**試験用パッケージソフトをご利用ください**。試験用パッケージソフトのダウンロードについてはNACCS掲示板をご確認ください。

<NACCS掲示板>

https://bbs.naccscenter.com/naccs/dfw/web/system/etcdoc/bousub/rt_pkg.html

②試験用パッケージソフトには、**申請書作成ソフトが同梱されていません**。本番で使用した.jetファイル  をそのまま、総合運転試験で送信可能ですが、試験用に加工する、もしくは新規に作成する場合は、本番用パッケージソフトにて行ってください。

<参考> 試験でJAAを送信し、受付無効等によりjetファイルを修正して再送信する場合の流れ

1. 試験用パッケージソフトを終了します。
2. 修正するjetファイルをダブルクリックし申請書作成ソフトを起動させます。
→この時点で本番用のパッケージソフトが起動しています。
3. 申請書の内容を修正し、jetファイルを保存します。
4. 本番用パッケージソフトを終了します。
5. 試験用パッケージソフトを起動し、JAA業務を実施します。

※jetファイルは、2月以降に施行されたものをご利用いただくようお願いしておりますが、1月以前のものは申請書作成ソフトのバージョンの関係で、エラーとなる可能性があり限定させていただきました。1月以前のjetファイルをご利用になる場合、あらかじめ、最新バージョンの申請書作成ソフトで「内容検証」を実施していただき、NGが出力しなければ、そのままご利用いただくことが可能です。内容検証でNGとなった項目の修正は上記手順のとおり修正していただくことでご利用可能です。

(2) 代理申請について

本番において、代理申請を委任されている場合(※)、総合運転試験においても代理申請が可能です。なお、代理申請実施の際は、委任した申請者にもメールが送信される点にご留意ください。

※2020年4月保守日時点のデータを試験環境に設定しているため、4月保守日以降に委任された場合は、代理申請はご利用いただけません。

(3) メール送信について

①総合運転試験で送信されるアドレスの送信元(NACCS側)は本番とは異なります。受信制限等の設定をされている場合は設定変更をお願いいたします。

・送信元アドレス: `announce@jetras-test.nac6.nacccs.jp`

②NACCSから送信されるメールは、2020年4月保守日時点の貿易管理サブシステムに登録されているメールアドレスを試験環境に設定しますのでご注意ください。

3. SMTP双方向(自社システム)利用者様向け注意事項

(1) SMTP双方向アドレス(仮想論理端末)について

①過去に接続試験を実施された際に、本番とは異なる接続試験用のアドレスを設定した場合でも、総合運転試験の環境においては、当該接続試験用のアドレスは設定されていません。本番用のアドレスをご利用ください。

②本番用のアドレスを、総合運転試験でご利用になる場合、NACCSにおいては、お客様の接続状態(本番で利用しているか試験で利用しているか)を意識して電文を送信しません。税関の許可のタイミングによっては、

- ・時間を区切って本番と試験で使用する場合、入力端末に電文が返る電文(EXZ型)は、送信時の環境と異なる環境で許可証を受信する可能性があります。→**解決策**

- ・SMTP双方向アドレス(仮想論理端末)宛に、個別に電文の宛先を設定している場合(個別宛管)、送信時の環境と異なる環境で許可証を受信する可能性があります。→**解決策**

※個別宛管の宛先がインタラクティブ端末等一般端末の場合は問題ありません。

[解決策] NACCSの送信元メールアドレスで本番の電文か総合運転試験の電文か
区別してください！

- ・送信元メールアドレス(NACCS接続試験環境): NACCS@SMTP.TEST.NACCS6

- ・送信元メールアドレス(NACCS本番環境): NACCS@SMTP.PROD.NACCS6

3. SMTP双方向(自社システム)利用者様向け注意事項

(2) 総合運転試験環境の設定について

- ①本番で設定している個別の宛先設定(個別宛管)は総合運転試験環境にも設定しています。
- ②本番で設定している二重出力は、総合運転試験の環境には設定しておりません。

(3) その他

- ①NACCS側設定は以下のとおりです。NACCS側DNSを利用されない場合は、第6次NACCS更改時にお伝えしました[バックアップセンター(接続試験環境)]を設定してください。

サブネットマスク	255.255.255.0	本番と共通
センター側pingポイントのIPアドレス(バックアップセンター)	10.3.212.50	本番と共通
ネットワーク側pingポイントのIPアドレス(プライマリDNS側)	10.1.226.50	本番と共通
ネットワーク側pingポイントのIPアドレス(セカンダリDNS側)	10.1.126.50	本番と共通
センター側DNSサーバのIPアドレス	(プライマリ)10.1.129.101 (セカンダリ)10.1.1.101	本番と共通
センター側メールアドレス(SMTP)	NACCS@SMTP.TEST.NACCS6	接続試験のみ

- ②本総合運転試験は、新規業務機能の確認を目的としておりますため、誠に恐縮ですが、自社システム特有の事象等の確認については、お問合わせをお控えください。

(1) 障害発生時の対応

- ①総合運転試験期間中に、本番のNACCSにおいて重大な障害が発生した場合は、障害状況により、総合運転試験を停止させていただく場合があります。
- ②上記①の場合及び、総合運転試験環境において障害が発生し、総合運転試験を停止する場合は、NACCS掲示板にてお知らせします。

(2) お問い合わせ

お問い合わせの際には、状況に応じて、以下の項目をお伝えください。

・利用者コード ・処理方式 ・業務コード ・エラーコード ・発生日時

問合せ先

【メールアドレス】 bousabu@naccs.jp

【担当】 システム企画部調整課